



http://www.bekkal.hokkaido-c.ed.jp

緑
風

第104号

発行
別海高校 P T A
広報委員会





今年もやっぱり暑い夏、 だけど充実した夏になりました

北海道別海高等学校
PTA会長

荒井 豊

今年も暑い日が多く、日頃から水分補給はもちろん熱中症対策グッズなどを利用して皆さん体調管理に努めていたと思います。そんな環境の中、各種部活動の大会や学校活動において別高生は楽しむ事を大いに感じ、最後までやり抜く熱い活動が全生徒で出来たのではないのでしょうか。

この緑風が発行される頃には、また新たな目標に向かい努力している時期かと思えますが、どんな時も前向き楽しむ事を感じ、健康でいてくれる事を願っています。さて今年三重県で行われた全国高等学校PTA連合大会に八月二十一日から二日間にわたり参加してきました。大会当日は三十八度を超える暑さの中、全国から多くのPTAが集まり、一日目は四つの分科会、二日目は記念講演として井村屋グループ会長の中島伸子さんのお話を聞かせていただき私個人としても学びとなる大会となりました。またアトラク



前期を振り返って

北海道別海高等学校
校長

織井 恒

荒井会長をはじめ、PTA役員・会員の皆様のご協力により、無事に前期を終えることができました。生徒のために多方面からご支援・ご協力を賜りましたこと、この場をお借りして深く感謝申し上げます。学校祭におきまして、お休み処や警備などにご尽力いただき、円滑に運営できましたことを重ねて御礼申し上げます。

また、全道PTA大会（函館大会）には4名の方にご参加いただきました。さらに令和7年度は本校が根室管内の主幹校となっておりますこと、8月21日、22日に三重県津市で開催されたPTA全国大会にも荒井会長とともに参加し、貴重な研修の機会を得ることができました。

前期の活動で特筆すべきは、本校酪農経営科が20年にわたり続けてきた植林活動に対し、日本水大賞の農林水産大臣賞を受賞したことです。2名の生徒とともに

に東京で行われた授賞式に参列し、秋篠宮皇嗣殿下の御前で賞状を拝受いたしました。どの学校の発表も素晴らしいものでしたが、立ち姿や礼儀作法に関しては、本校生徒が群を抜いていたと感じました。

近年はデジタル化や効率性ばかりに注目が集まりがちですが、日本の気配りや思いやり、「おもてなし」の精神の大切さを改めて実感いたしました。私自身、北

米・南米・東南アジア・アフリカと多くの国を訪れてまいりましたが、日本ほど住みやすく、安全な国は他にありません。確かに海外に比べ遅れをとる面もありますが、これからはむしろ日本の価値観を世界に発信していく時代ではないかと考えております。我々日本人は自信を持ち、伝統文化を守りながら次の世代へと継承していく責務があると強く感じております。

そのためにも、地域・学校・ご家庭が一体となり、

生徒が誇りを持って学び、挑戦できる環境を築いていくことが大切です。後期におきましても、引き続きPTAの皆様のお力添えをいただきながら、生徒の健やかな成長のために努めてまいります。今後とも変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

PTA活動報告

第74回北海道高等学校PTA連合大会道南大会に参加して

田村美沙紀

6月7日・8日の2日間、函館市で開催された「北海道高等学校PTA連合大会」に参加しました。私は昨年の北見大会に続き、2回目の参加となります。

小・中学校では微力ながらPTA役員活動をしてきましたが、先生方ともあまりお話をする機会もなく活動していくような感じでした。初めは教員でもない保護者が参加しても大丈夫なのかな？と感じました。

車を走らせ片道9時間（運転は校長先生）、函館へ向かいました。

今回の大会テーマは「新時代を開く若者たちと共に支えよう」。道内各地からPTA役員や教職員が集まり、これからの高校生の支援について学び合う貴重な機会となりました。

1日目の開会式の後、PTA功績者や優良PTAの表彰が行われ、日頃の活動への感謝と敬意が伝えられました。続いて、株式会社セコマ代表取締役社長・丸谷智保氏の講演「心で支える経営／地域と共に」を拝聴しました。

地域の声に応じてセイコーマートを出店し、共に店づくりを行ってきた実例から、「心で支える」という姿勢の大切さを学びました。

2日目の分科会では、グループに分かれ、全道の校長先生や教職員、PTA役員の方々と意見交換を行いました。

高校生が地域企業と連携して商品開発を行う取り組みや町内会との協力など、地域と学校の連携事例が紹介されました。一方で、学校間の連携の難しさや手続きの煩雑さといった課題も共有されました。

また、北海道奥尻高校の教頭・長尾祐輔先生の講話では、離島ならではの地域

とのつながり方や工夫を知ることができました。

学びの多い2日間で、時間が足りないほど内容が充実していました。今回の経験を、今後のPTA活動にしっかりと活かしていきたいと思います。最後になりましたが、校長先生をはじめ、PTA会長、教職員、役員の皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。



全国PTA連合大会三重大会



北海道PTA連合大会道南大会

学校祭を終えて

学校祭を終えて

1年A組 杉本 壮佑

1年A組は、学校祭を終えて、クラスの仲がより深まった気がします。なぜなら、自分の担当ではないところを手伝ったりして協力し合っていたからだと思います。あと、言い合いをしたときもありましたが、話し合いをしたからより深まったと思います。そのおかげで授業の時のペアワークなどすぐにできるようになったと思います。それに学校祭が終わってから男女の交流が増えたと思います。色々学んだ学校祭でした。



学校祭

1年B組 近内 魁斗

高校生活初めての行事でクラス全体が盛り上がり、楽しんでいました。自分は展示係として、どのようにしたらテーマに沿った展示にできるかなど係で話し合ったり、提案したりしました。トラブルもあり、その度に話し合い、解決していききました。ダンスも積極的に参加し、みんなで完成させようというのが伝わって来ました。本番は頑張ったダンスが上手くいって良かったです。先輩方の展示は個性を出しつつもテーマに沿って見ていて飽きないものでした。来年は僕たちも個性を活かしつつ、成長を見せたいです。



魂

1年C組 堀内 勇希

初めての学校祭では、各学年・クラスがひとつとなり、テーマに沿った作品を作り出す姿を体感することができました。特に、3年生のパフォーマンスや展示はどれも迫力があり、見入っていました。また、クラス内だけでなく学校全体でアドバイスをし合ったり、道具の貸し借りをしたりする姿から、助け合いの大切さも学ぶことができました。どの出来事も記憶に残るような楽しい学校祭でした。来年は、私も先輩の姿から得た学びを活かし、よりよい学校祭にできるように取り組みたいです。



学校祭を終えて

1年D組 今野 想允



私達酪農経営科では、3学年全員で力を合わせ、学校祭に取り組みました。1年生にとっては初めての学校祭で、わからないことや不安なことが多く、失敗することもたくさんありました。ですがそんな中、先輩方や先生方などが優しく教えてくださり、協力し合ったおかげでとても良い学校祭にすることができました。一般の方々や他の生徒の皆さんなど、たくさんの方々を楽しませることができ、とてもよかったなと心から感じました。

2回目の学校祭

2年A組 佐々木健輔



僕は今年で2回目の学校祭でしたが、今年は準備のときから本番までのすべての期間で学年関係なく協力でき、いい雰囲気です。学校祭を過ごすことができ、みんなが楽しめた素晴らしい学校祭になったと思います。実行委員会として準備しているときもメンバーみんなで声を掛け合い予定よりも早くやることを終わらせたり、当日では学年関係なく展示を回ったり、写真を撮ったりと別海高校らしい生徒全員がフレンドリーな最高の学校祭でした。

学校祭を振り返って

2年B組 森井 滯



私は広報委員で、学校祭の準備や片付けの物品移動などの指揮を執っていました。もう1人の広報委員とともに指示を出していたのですが、クラスメイトはよく指示を聞いてくれてほとんど滞りなくスムーズに片付けをすることができました。他に、準備期間では各部門がリーダーを中心に話し合いなどを重ねて、とても丁寧に準備が行われており、みんなが一致団結している様子で和気あいあいとしていて良い雰囲気だったと思います。

学校祭

2年D組 松浦爽一郎



僕は学校祭で、酪農経営科全体のお金を管理する会計を担当しました。日常生活においては大きなお金を扱うことはめったにないので、最初はすごく緊張しました。残金と徴収書の金額が合っているか何度も確認したり、そのことを逐一先生や先輩に報告したりと、想像以上に繊細で大変な仕事でした。一方で、責任の大きい大切な仕事であると感じ、任されたからには最後まで、という思いでやりきることができました。今回の経験を経て、任された仕事に伴う責任の大きさについて学ぶことができました。

学校祭を終えて

3年A組 椎木香里奈



学校祭では、教室展示を中心に衣装作りや、パフォーマンスなど様々なことに取り組みました。準備の時からクラス全員が協力し合い、完成が近づいたたびにすごく楽しみにしていました。当日は、展示を多くの人が見に来てくれて笑顔を見られたのがとても嬉しかったです。衣装を着てのパフォーマンスも大盛り上がりで会場が一体となって楽しめたと思います。最後の学校祭は準備期間から本番まで最高に楽しい思い出になりました。

学校祭

3年B組 入江紗来菜



私たちの学校祭のクラステーマは「チャリリーとチョコレート工場」でした。映画や小説の世界観を表現するのは難しかったですが、クラス全員でアイデアを出し合い、工夫を凝らすことで楽しい空間を作り上げることができました。

今回の学校祭を通して、仲間と協力して一つの作品を完成させる喜びや物語の世界を現実に表現する面白さを学びました。また3年生最後の学校祭で総合優勝することができてとても嬉しかったです。

学校祭

3年D組 佐藤 龍星



私たち3年生にとって最後の学校祭でした。今年の酪農経営科は展示やパフォーマンスなどすべて学年合同で行った初めての学校祭でしたが、準備からみんなで協力し合い、最終的にいいものが作れたと思います。

今年、私は垂れ幕の責任者として1、2年生に的確な指示を出すことができたか心配でしたが、指示通りに素早く動いてくれて楽しく絵を描くことができ、とても良い思い出になりました。一致団結して酪農経営科全体の仲がこれまで以上に深まった最高の学校祭でした。

蒼作

生徒会長 3年A組 武藤スミレ

今年度の学校祭テーマは、濃い青春を創るという意味を込めて「蒼作」を選びました。

約1ヶ月という短い準備期間、生徒一人ひとりが個性や力を発揮し、テーマに相応しい、濃く充実した活動となりました。生徒会執行部が中心となり、学校祭実行委員や各部門代表者、先生方など、たくさんの方の協力をいただいて準備を進めることができました。

昨年度の反省点であった報告連絡相談を徹底できて大きなトラブルもなく進行することができました。エンディングムービーを作る際には、生徒会の皆と先生方の気遣いに救われました。こんなにも暖かい環境で活動できたことに感謝しています。お陰さまで無事に学校祭当日を迎えることができました。見に来てくださった地域の方々や審査員の方、この時感じた達成感、他には味わえない特別なものでした。「蒼作」は一生忘れられない青春のページです。

学校祭実行委員長より

3年B組 藤野 元貴



学校祭実行委員長としてこの行事を運営することは初めての経験だったので、少し不安がありました。しかしながら私にとってかけがえのない経験となりました。教室の装飾や二日目の受付など非常に大変でしたが、多くの人が楽しんでくれる姿を見て、やっていて良かったと思いました。また学校祭の開会式の挨拶をすることになり、緊張はありましたが、やり遂げることができました。テーマの「蒼

という漢字には青春そして青よりも深く、濃い色という意味が込められています。今年の学校祭はやりたかったバンド演奏などができて僕の高校生活で1番濃い学校祭となりました。

この経験を通して、リーダーシップの大切さや仲間と協力することの意義を学ぶことができました。最後の学校祭は終わってしまいましたが、この経験は今後の人生に必ず活きると思います。また来年も学校祭が盛り上がるよう陰ながら応援しています。



令和7年度高体連・高野連の成績

【男子バスケットボール部】

対釧路高等専門学校 50-92 1回戦敗退

【女子バスケットボール部】

対合同チーム

(釧路明輝高等学校・釧路商業高等学校) 27-110 1回戦敗退

【女子バレーボール部】

対釧路商業高校 0-2 対釧路明輝高校 1-2 予選リーグ敗退

【バドミントン部】

○男子団体 初戦: 0-3 江南

○女子団体 初戦: 1-3 北陽

○男子ダブルス

橋山(3B)・山本(2B)組、小林(3A)・山口(3A)組、

伊原(3A)・今井(3B)組、村山慶(2A)・飯井(2B)組: 初戦敗退

○男子シングルス 伊原(3A): 3回戦敗退、小林(3A)、山口(3A)

今井(3B): 初戦敗退

○女子ダブルス 阿部(1A)・庄司(3A)組: ベスト8

武藤(3A)・宮本(3B)組: 3回戦敗退

高橋(3A)・水足(3B)組

高橋(2A)・阿部(2B): 初戦敗退

○女子シングルス 宮本(3B): 2回戦敗退

庄司(3A)、武藤(3A)、高橋(3A): 初戦敗退

【卓球部】

学校対抗 (女子)優勝 (男子)2回戦進出

シングルス (女子)3B佐藤優勝・2B宮川ベスト4

(男子)2A福嶋・2A佐々木3回戦進出

ダブルス (女子)佐藤・宮川ペア優勝

(男子)3B太田・2A佐々木ペア3回戦進出

【サッカー部】

対中標津高校 4-1 対北陽高校 1-9 2回戦敗退

【硬式野球部】

対釧路湖陵高校 3-10 (8回コールド負け)

【陸上競技部】

男子800m 女子800m 男子1500m 女子1500m 男子5000m

ウォーク 女子走高跳 女子7種競技にて全道大会出場

【ソフトテニス部】

溝口・入江 対 釧路商業 2回戦勝利

対 釧路湖陵 3回戦勝利(ベスト8)全道大会出場

【空手道部】

3B井上 個人形 優勝

3B藤野 個人組手 5位

2B河島 個人組手 準優勝 個人形 3位



部活動

高体連を終えて

3年B組 佐藤 愛理



今回私たち卓球部は高体連の当番校業務を担当しました。このような機会であればすることがない作業ばかりで慣れない部分も多くありましたが、細部まで調整し部員同士で分担をしながら取り組むことができたと思います。また、今回の当番校業務では、顧問の先生方や他校の方々の協力もあつたおかげで、スムーズに会場設営や片付けをすることができました。今回の大会結果は、女子学校対抗・シングルス・ダブルス

の3つすべてで優勝することができました。私たちは今回の経験から、いつも運営していただいている方々へのありがたさを改めて感じる事ができました。今回学んだことをそれぞれの将来に活かしていくとともに、自ら率先して行動していくよう意識していきたいです。

インターシップ

インターシップで学んだこと

2年A組 長谷川 絢音

私はインターシップで3日間、愛光幼稚園に行きました。最初は緊張もあり、子ども達と目が合うものの、そこからどう関わっていくべきなのか戸惑うばかりでした。ですが、時間が経つにつれて、子ども達が自分で作った作品を見せに来て話してくれたり、どういう作品なのか聞いたりする事で、自然と子ども達と会話ができて、信頼関係を築くことができました。また、先生方が子ども達にできる事は自分でやらせつつ、困ったときには優しく声をかけて励ましている姿を見て、

とても勉強になりました。安心できる言葉かけによって子ども達が自信を持って活動できる事の大切さを実感しました。

今回のインターシップで貴重な経験をさせていただいたことに感謝し、今後の学びに活かしていきたいです。

インターシップを終えて

3年B組 和田 梨恋

私は7月28日に中標津病院でのインターシップに参加しました。初めて実際の医療現場や病院で働く方々の裏側を間近で見学することができ、普段の学校生活では味わえない学びや緊張感を体験することができました。また、患者さんと真剣に向き合う現場は大きな刺激であり、自分の将来の目標をより強く意識するきっかけになりました。緊張もありましたが、それ以上に学びが多く、新たな発見がありました。交流会では看護師さんから直接お話を聞くことができ、医療現場でのお話しや進学についての相談をすることができ、とても有意義な時間でした。

今回のインターシップを通して得た学びは進路活動だけではなく、進学した後にも活かしていきたいです。



高玉建設にて



陸上自衛隊にて

農業クラブ

全道技術競技大会

3年D組 武藤 匠馬



全道技術競技大会に出場することになり、夏休み中に学校に来て勉強をしました。それでもあまり自信がありませんでした。ですが、たくさん勉強して対策をしていたので、全道大会で優秀賞を取ることができました。そして、全国大会に出場することが決まりました。全道大会より高得点を出せるように、また、別海高校の代表として、そして東北北海道の代表として、恥のないように頑張つてきます。最優秀賞を取れるようにさらに勉強をして頑張つていきます。

日本水大賞

農林水産大臣賞を受賞して

3年D組 青木新太郎

今回、水大賞を受賞したことについて心から誇りに思います。ただ、今の私たちが酪農経営科が築いたものではなく、歴代の先輩たちが20年にもわたって植樹活動を行い続けてくれたおかげで、今回私たちが賞を受け取ることができました。先輩たちの想いも背負って今まで行ってきた植樹活動をしつかり報告してくるという使命をもらい、とても誇りに思いました。そして、東京の舞台へ足を踏み入れて国を代表する方々の前で発表を行うこと自体、この先の人生でも二度とないことだと感じました。

やはり、最初から最後まで緊張しましたが、それでも発表をなんとかやり切ることができて本当に良かったです。そして、他の受賞者の方々との交流もあり、私たちの住む別海町のアピールもでき、心の底から嬉しかったです。過去の先輩たちの有志で行われた植樹活動から始まり、今では酪農

経営科の1つの恒例行事となっています。そして、水大賞の受賞は何かの物語なのではないかと疑ってしまふほどでした。この経験は生涯最大の経験だと思えます。今回学び、感じて、経験したことをこれからの人生に刻んでいきたいと思えます。

進路より

○近年の大学入試改革
― 共通テスト新課程入試・
年内入試合格者(総合型・
学校推薦型)の増加―

グローバル化の進展や少子化など社会が大きく変わっていく中、課題を自ら発見することや答えのない問題に向き合っていくこと、新たな価値を創造することなどが重要になっています。そのために、①知識・技能、②思考力、判断力、表現力、③主体性を持つて多様な人々と協働して学ぶ態度、これらの「学力の3要素」を身につけることが求められています。

この「学力の3要素」を多面的・総合的に評価できるように大学入試改革が進められています。高校までに身につけた思考力・判断力等の評価をより重視した「大学入学共通テスト(旧センター試験)」が導入されており、2025年から新課程入試が始まりました。主な変更点は「情報I」が追加、地歴・公民の科目構成、選択方法の変更、試験時間の変更などです。また、

各大学においても入学志願者の能力・意欲・適性等をより多面的・総合的に評価していくための「総合型選抜(旧AO入試)」や「学校推薦型選抜(旧推薦入試)」が実施されています。国立大学ではこの「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」による入学者を3割とすることを目指しており、この制度の募集人員は増加しています。「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」では、「学力の3要素」はもちろんのこと、総合的な探究の時間で実施している探究活動や、課外活動(ボランティア活動、インターシップ、別海防災スクール等)での取り組みも重要となっています。

○3学年の大まかなスケジュール(個別に異なる場合があります)

- ◆就職
 - 7月1日 求人票公開
 - 9月5日 応募開始
 - 9月16日 選考・採用内定開始
- ◆進学(専門学校)
 - 6月 AOエントリー開始
 - 9月 AO出願開始
 - 10月 推薦出願開始
- ◆進学(大学)
 - 9月 総合型選抜出願開始
 - 11月 学校推薦型選拔出願開始
 - 1月 大学入学共通テスト
 - 2・3月 各大学個別試験

